



客員教員 河村 哲也

皆様ご入学、誠にありがとうございます。私は一昨年10月から文京学習センターで客員教員をしています。またそれ以前にも非常勤講師として「数値計算とシミュレーション」という科目を受け持ってきました。

専門は教員紹介では情報科学と記されていますが、詳しく言うと情報と物理の中間です。情報科学は大きく分けてコンピュータ自身の科学とコンピュータを用いる科学がありますが、私は後者のコンピュータを用いる方で、コンピュータによる自然現象のシミュレーション、特に自然界に存在する各種の流れのシミュレーションを専門としています。

情報科学は現在、非常に発展していますが、私が大学に入った1970年代前半は大学に情報科学や情報工学という学科はほとんどありませんでした。したがって、私の年代で情報関連学科の出身者はごく少数で、情報を専門にしている方々は電気・電子や物理といった学科を卒業しています。

このように社会はめまぐるしく変化していますので、古い知識があまり役立たないことも多くあります。しかし、基礎の教養といったものはあまり変化しません。放送大学は教養学部1学部構成ということで、深い専門を身に着けるのは難しいかも知れませんが、幅広い教養を身につけるには大変適していると思います。

大学は法律の定めにより4年間で124単位以上を取得すれば卒業でき、学士の称号とともに大卒の資格をもらえます。放送大学では124単位のうち104単位を放送授業で、残りの20単位（以上）を面接授業でとることになります。

面接授業は、放送を聞いて一方的に学習するのではなく、学習センターにおいて対面で授業を受けます。したがって、講師の先生とやりとりができる貴重な機会ですので、是非有効活用していただきたいと思います。

私も含めて客員教員の役割の一つとして、よい非常勤講師の先生を紹介するというのがあります。皆さんがこれから面接授業を受講される非常勤講師の先生方は素晴らしい方ぞろいですので、少しでも多くのことを吸収していただきたいと思います。

さて1単位をとるには、最短で土日などに詰めた授業でも2日間、朝から夕方まで講義を聞きます。そして、試験を受けたりレポートを提出したりして、それにパスしてはじめて単位がもらえます。それを20回繰り返すことになりますので、容易ではないと思います。是非目標をはっきり決めて、強い意志で授業を受けてください。

客員教員の別の役割として学習相談にのることがあります。文京学習センターには専門分野の異なるいろいろな客員教員がいますので、気軽に相談していただければと思います。ただ、新型コロナウイルスの流行もあり、変則的になっていますので、相談方法などは事務に問い合わせてください。

あと、学習意欲の旺盛な方向けに、単位にはならないのですが、自主ゼミを行っている先生もいますので興味のあるテーマがあれば参加いただければと思います。私も、簡単な数値計算、数値シミュレーションの自主ゼミを行う予定でいますが、パソコンを使って対面でおこなうため、新型コロナウイルスの影響がなくなってからになると思います。

先ほども書きましたが、卒業するには124単位、そのうち20単位は面接授業ということで、かなりの決意をもたないと卒業は容易ではないと思います。しかし、せっかく入学されたわけですし、それなりの投資も行うわけですから、是非卒業を目指していただきたいと思います。簡単ですが、これを私のお祝いの言葉とさせていただきます。